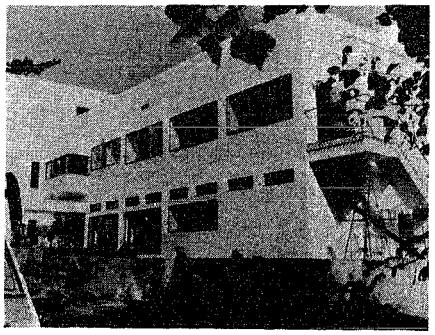
南浜連絡所が10月31日、新装オープン


新装なった南浜連絡所

老朽化のため改築を進めていた南浜連絡所が完成。十月二十九日・三十日に移転作業を行い、十月三十一日(月)から、業務を開始します。

住所は島見町二〇七〇、電話番号は、太郎代局二一一一番。

この南浜連絡所は、昭和五十年度から今年度までの三か年継続事業で建設していたもので、建設費は一億二千万円。

千九百二十二・七七平方㍍の敷地に、鉄筋コンクリート三階建て、建物の延べ面積七百三十七・九九平方㍍。

冷暖房完備で、二十五台入る駐車場も設けました。

建物の中は、連絡所と集会所とからなっており、一階が事務室、会議室、公民館事務室、談話室、ホール機械室、トイレ、二階が大集会室、会議室、和室、ロビー、トイレ、三階が倉庫となっています。

談話室は、他の連絡所にはないもので、湯沸所を設け、市民の方々がここで、茶飲み話をしたり、手続きなどの間の待ち合いに使っていただきます。

大集会室は、七十人ほど入りますが、多目的に使えるよう、三室に区切ってあり、調理もできるよう設計しました。

調理のできるようにしたのは、これまで、婦人会の方々が、農村部の食生活改善のための料理講習会を行うにも、会場がなく不便をしていたこともあって、婦人会の皆さん待望のものといえます。

和室には、「お茶」のための「水屋」も設けました。

ロビーには、今後、各種の展示を行っていく予定です。

大集会室、会議室、和室などは、一般に開放され、各種公民館講座のほか、いろいろな会合などに利用できます。

坂井輪連絡所などの建設も進む

そのほか、現在、地区センター的な機能を持たせた坂井輪連絡所(連絡所、西土木事務所、地区保健センター、公民館、図書室)のほか、石山連絡所(連絡所、地区保健センター、公民館図書室)、濁川連絡所(連絡所、集会所)の改築も計画されております。

検診車による子宮頸がん検診実施

市では、今年も例年どおり市医師会の協力を得て、満三十歳以上の女性を対象に、九月から十一月の三か月間検診料の一部市費負担による子宮頸がん検診を実施しています。

この度、比較的医療機関の少ない地区を対象として、検診車による子宮頸がん検診を実施します。

子宮頸がんは、婦人において発生頻度が高く治ゆ率も高い病気なので、年に一回は必ず検診を受けるようにしましょう。

なお、十一月三十日までに市内医療機関でも検診を実施しています。

対象者　満三十歳(昭和二十二年四月一日以前に生まれた人)以上の市民。

費用　受診者本人負担二百円(検診当日持参のこと)

ただし、生活保護世帯の人は、福祉事務所長または、民生委員の証明書を提出すれば無料です。

申し込み　婦人会、自治会等を通じて申し込んでください。(保健所から検診申込書が回覧されます)

日程　別表

受付時間　午後一時から二時半まで。

検診結果　検診後、約二週間ほどで本人あて通知します。

問い合わせ　東保健所保健予防課(☎41―四一一一)

月・日	対象地区	会場
11・11	両川	両川連絡所
11・14	曽野木	曽野木連絡所
11・15	中野小屋	中野小屋連絡所
11・16	松浜町、太夫浜、神谷内、松栄町、三新屋町、松浜新町、新元島町	松浜福祉会館
11・17	大江山	大江山公民館
11・18	中野小屋	笠木公民館
11・21	坪山、神山、東山、木山、谷内、下野地、中幡寺1、2区	木山保育園
11・22	赤塚1区~13区、ニツヤ、藤蔵新田、山崎、坂田	赤塚連絡所
11・24	南浜、太郎代校区	南浜連絡所
11・25	濁川校区	濁川連絡所
53・2・14	内野上新町	上新町公会堂
53・2・15	五十嵐2の町、3の町	2の町集荷町

ハッスルしすぎの組もママとちびっ子のトリム大運動会

去る十日の体育の日、県営陸上競技場で、ママとちびっ子トリム大運動会が開かれました。

この日は、前夜の雨もあがってすがすがしい秋晴れの空。

好天にめぐまれ、参加者もぞくぞくつめかけ、総勢約千五百人ほどのママさんパパさん、チビちゃんが集まりました。

全員でラジオ体操をやったあと、ママの五十m競争でフタをあけました。

「ママがんばれ!」「早く走ってよ」―とせいいっぱいの声をはりあげて応援するちびっ子たち。

"ボールみこし"を楽しむママとちびっ子

パパさん、ママさんが出場しカードを拾って自分の相手を見つけ出し、風船をふくらませて二人のほほにはさみ肩を組んでゴールを目指します。お互いに知らない人と組むものですからちょっぴりテレている人もいました。

昼食後、みんなで輪になってフォークダンスを踊ったり、綱引きをやったり、秋の一日を楽しんでいました。

"ハッスル"は、お互に向き合って二本の棒を持ち、そこにボールをはさんで走るもので、さすが親子の息がピッタシ……。

しかし、なかには母親だけ、ハッスルして、子どもを引きずるように走り、転倒する組もありました。

また、"仲よし風船"は親と子どもの"ボールみこし"は、

全国防犯運動

十月二十一日(金)―三十一日(月)

全国防犯運動が十月二十七日から始まります。

お出かけは、おとなりにひと声かけて、カギかけて。

また、自転車盗も増えています。自転車には必ず防犯登録をしましょう。ちょっとの間にもカギをかけましょう。

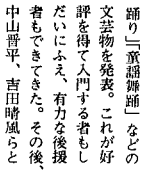
にいがたむかしかわらばん

新潟の生んだ舞踊家

藤蔭静樹(二)

芸能の道は深遠であり、終着点はない。しかもプロとなると、絶えざる創意工夫が要請される。

藤間静枝は在来の踊りにあきたらなかった。折から勃興してきた新童謡、新民謡、新箏曲に新しい解釈を与えた振付をし、脱皮を試みる。これを新舞踊として発表したのは藤蔭会第八回公演からで、二歳。



紫綬ほう章を受けたときの藤蔵静樹
新潟日報社刊「越佐の生んだ日本的人物」より

朝鮮満洲へ公演旅行をしたり、昭和三年には渡欧してパリのテアトルフェミナ劇場で公演したりしていよいよ名声をあげ、昭和六年二月、国民文芸賞を受賞した。同年七月、藤間流名取を返上して藤蔭流を創立した。時に五十二歳。

この時は『浅茅ケ宿』その他であった。大正十一年には「秋の調」『落葉の踊り』『童謡舞踊』などの文芸物を発表。これが好評を得て入門する者もしだいにふえ、有力な後援者もできてきた。その後、中山晋平、吉田晴風らと

大平洋戦争中は一時なつかしの新潟市に疎開したが、終戦とともに東京へ戻り、早くも翌年三越ホールで第五十一回公演を開く。老いを知らぬ活躍ではある。二十八年には東京新聞から第一回舞踊芸術賞を受賞した。三

十二年、藤蔭美代枝に二世静枝をゆずって自らは静樹となり、翌年藤蔭流宗家を樹立して意気いよいよ盛んなものがあった。

三十五年には紫綬ほう賞を受ける。八十歳を越えたこの老舞踊家は、三十八年十一月歌舞伎座で「伝授山姥」を踊る。これが最後の舞台となり以後自宅で臥床したり病院で療養したりの明け暮れとなった。この年十一月三日には文化功労者の栄誉に輝き、さらに翌年春には勲四等宝冠章を授与された。四十一年一月二日、東京麻布六本木の自宅で、多くの知己門弟に見守られながら、その多彩な一生を終る。八十六歳。

(新潟市郷土資料館)

チューリップ球根を差しあげます

市園芸センターで栽培されたチューリップの球根 9,500球を市民の皆さんに差し上げます。

日時　10月24日午前10時から

場所と数量　本庁および連絡所(5球入り)
市役所本庁舎前 600袋　入船 150袋
関屋250袋　鳥屋野300袋　曽野木100袋
大江山100袋　両川100袋　坂井輪300袋

アスパラガスの苗を差しあげます

日時　11月4日午前10時～正午

場所　市役所本庁

対象　先着400人。1世帯1名1袋(5本入り)

申し込み　10月26日(消印有効)までに、往復はがきに住所、氏名を記入のうえ、市園芸センター(石山1559番地の2)へ。
※当日必ずはがきを持参ください。(はがきと引き換え)

ダウン症候群父母の会(小鳩会)のつどい

日時　10月30日午後12時半～4時

場所　市公民館木戸分館(山木戸字名山)

講師　財団法人　小鳩会理事長　小石隆

常氏　(幼児期、学齢期、青年期でお悩みの方お集りください。理事長が相談相手となりますよ。なお、当日はお子様も同伴してください。友達がいっぱいいます)

※バス利用　牡丹山線山木戸三丁目下車

連絡先　小鳩会新潟支部　金沢貞夫(☎73―1208)へ

高血圧講習会

日時　10月25日午後1時半～4時

会場　中央公民館

内容　高血圧について、日常生活について、食事について(試食)

1歳半児検診

〈東保健所会場〉

対象　昭和51年4月生まれ

時間　午後1時～2時半

持参品　母子健康手帳、上ばき

月・日	対象校区
11・7	方代、南方代、大潟、丸山、東山の下、下山
11・14	山潟、東中野山、中野山、曽野木、丸潟
11・16	山の下、桃山、寺口、上所
11・21	太形、長嶺、沼垂、女池、鳥屋野、上山
11・28	木戸、牡丹山、割野、酒屋

〈北地区保健センター会場〉

対象　昭和51年3・4月生まれ

時間　午後1時半～2時半

持参品　母子健康手帳、上ばき

月・日	対象校区
11・2	松浜、濁川、南浜、太夫浜、太郎代

社会保険相談

日時　11月1・16日午前10時～午後3時

会場　新潟厚生年金会館「しあわせコーナー」(流作場☎43―3551)

内容　厚生年金、国民年金、健康保険などの相談

主催　新潟社会保険事務所ほか

～おんなをとりまく状況とその未来～「おんなと男の未来をつくろうかい」会員募集

より良きおんなの生き方を探り、またより良きおんなと男の未来を求めて!

日時　毎月第1・3火曜日午後6時半～8時半

会場　中央公民館

対象　老若男女を問いません。(おおいに男性の参加を募ります)

申し込み　11月2日までに、直接会場へおいでください。当日おいでになれない方は、はがきで市中央公民館「おんなと男の未来をつくろうかい」係(〒951西堀通6)へ。